

平成28年度第1回印西市水道事業運営審議会会議録

日 時	平成28年11月15日(火) 午前10時から11時15分まで	
場 所	印西市立本埜公民館2階 視聴覚室	
出席者	委員	前田委員、鈴木委員、山口委員、地曳委員、篠田委員、藤本委員、松田委員、吉田委員
	印西市	板倉市長(あいさつまで) 堀江水道部長、菅澤水道課長、草間主査、唐澤主査
欠席者	小畑委員	
傍聴者	なし	
議題	1 印西市水道事業の現状について 2 経営戦略の策定について	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・平成28年度第1回印西市水道事業運営審議会資料 ・委員名簿 <参考資料> <ul style="list-style-type: none"> ・印西市水道事業運営審議会条例及び同施行規則 ・平成27年度印西市水道事業会計決算及び決算附属書類 	
議事要旨		
	<p>【委嘱状交付】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長から各委員に委嘱状を交付 <p>【開会】</p> <p>【市長あいさつ】</p> <p>【委員紹介】</p> <p>【事務局紹介】</p> <p>【会長、副会長の選出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長に前田委員、副会長に小畑委員を選出 	

	<p>【議題1 印西市水道事業の現状について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別紙資料のとおり事務局から説明（質疑応答なし）
<p>委員 事務局</p>	<p>【議題2 経営戦略の策定について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別紙資料のとおり事務局から説明（質疑応答） ・市営水道で千葉ニュータウン区域の供給をした場合の収支見込みはどうか。 <p>→県営水道から何を引継ぎ、どうやって供給していくのか次第です。北総浄水場から直接、配水出来るのであれば収支はよくなるが、現在の運営体制のままでは困難であると考えます。逆に、市営水道の区域を県営水道で供給してもらえれば、水道料金は県営水道と同じように安くできるのではと考えます。</p>
<p>委員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・井戸の自己水源を増加させる考えはありますか。 <p>→水道事業の認可としては、あと2つ井戸を見込んでいますが、井戸の掘削については、環境の県条例で規制されており、今から掘削することは非常に困難な状況です。</p>
<p>委員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略での給水人口、日最大給水量は、認可値の給水人口、日最大給水量を位置付けるのか。 <p>→認可値は計画している最大値です。経営戦略は平成43年度までの計画で給水人口等は最新の実績等を踏まえて見積もっていくこととします。</p>
<p>委員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・給水人口を増加させる見通しはありますか。 <p>→印西地区の水道の整備は概ね終了しており、印旛地区は整備する余地は残っていますが、水道管を整備しても、現在地下水をお使いの皆さんはなかなか切り替えていただけない状況です。要望を受けて整備すると給水人口は増加しますが、費用対効果の面からは厳しいものがあります。</p>
<p>委員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・給水原価は下がる見込みはありますか。 <p>→経費を削減すれば給水原価を下げることは可能ですが、受水費、人件費、減価償却費で費用の85%を占めているので、削減可能な費用はわずかとなってしまいます。</p>

<p>委員 事務局</p>	<p>・受水単価は下がらないのか。 →用水を供給している印旛広域水道には構成市町村から要望を出していますが、厳しい状況です。 県内では、県営水道と他の用水供給事業者の統合について検討されており、印旛広域水道と県営水道が統合となった場合、受水単価が下がることが期待されます。しかし、県からは、前出の統合が終了するまで印旛広域水道との統合は手がつけれないと回答があったようで、厳しい状況が続きます。</p> <p>【平成28年度第1回印西市水道事業運営審議会を閉会】</p>
-------------------	--